

- 語り合う
- 生命誌の広場
- 中村桂子のちよつと言
- ラボ日記
- 表現スタッフ日記
- さまざまな交流
- 生命誌のこれからを考える

## 生命誌の広場

### テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちよつと言」
- 研究について
- 季刊「生命誌」
- 展示・映像
- その他

### あなたの考えをお聞かせください

### ご意見はこちらから

#### 最新のお返事

- 2019年10月02日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日 [この夏一番元気だったものは？](#)

#### 最新のご意見

- 2019年09月27日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日 [この夏一番元気だったものは？](#)

#### 過去の書き込み

2019年 10月  
GO

### みなさんからのご意見

#### 季刊「生命誌」

##### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.30 ニックネーム：BRHカード読者Sさん

毎回興味深いテーマを掘り下げた誌面に興味している。一番の楽しみはいいと大人がと笑われるかもしれないが紙工作である。小学生の頃学研の学習と科学だったかその付録を思い出させる懐かしさがある。

#### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

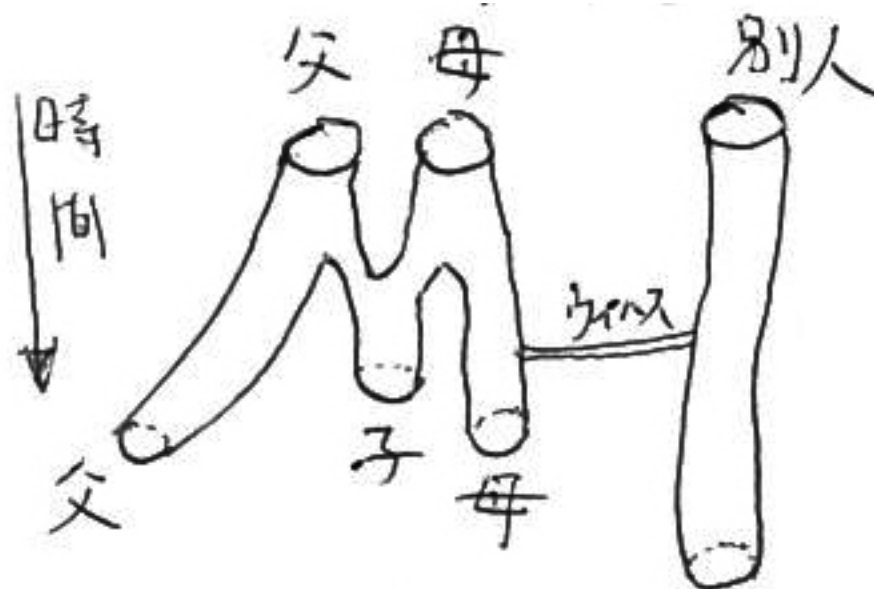
多くの方が工作が楽しいと言って下さいます。そこから科学の方へ入っていただく…私たちもそれを願っていますので、まず工作をお楽しみ下さい。

#### 季刊「生命誌」

##### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.28 ニックネーム：Alu Y

84号のウイルス特集を読んで考えました。血縁にあるものは4次元でみれば連続体です。ウイルスのみが非血縁間をつなぐ装置です。胎盤の進化などウイルスが2つの異なるシステムを結合させたのもその1つの働きと思われました。



#### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

ウイルスについては私たちもこれから勉強を続けるつもりです。新しいウイルス像が生まれそうです。

#### 季刊「生命誌」



- 10月19日生命誌オープンラボ (19.10.01)
- 10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会(19.10.01)
- 昆虫脳の標本展示が登場！(19.10.01)
- パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始(19.10.01)
- あくあびあ芥川とスタンプラリー開催(19.10.01)

## 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.28 名前：武藤圭二郎

“中止を希望する”を書けなんて、寂しい、寂しい。  
寂しい、寂しい気持ちが4ヶ月ほど前にとれたのに。このはがきを受取って寂しい寂しい気持ちが戻って来てしまいました。お願いですインターネットで見ますから立版古だけは有料でけっこうです送って下さい。ほんとうに寂しいです。寂しい寂しい寂しい。80才の私に『生命誌』は唯一の楽しみです。毎日毎日見てねます。生命誌絵巻と新・生命誌絵巻の立版古は枕元においてます。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

寂しいと言っていたいただき心からお礼を申し上げます。どうぞお続け下さい。お送りします。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.26 ニックネーム：BRHカード読者Hさん

生命科学が探究する課題は多方面であり、他の諸科学との学際的な協力が不可欠です。  
宇宙科学と共に、未知の発見に研究が進んでいくことに、期待します。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

生命誌は、あらゆる分野とのつながりを持っていると実感しています。この20年でそれが見えてきたことも実感しています。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.25 ニックネーム：YOKKO

いつも楽しく観ております。  
生命誌84号はブルーボックス『巨大ウイルスと第4のドメイン』を読み終えた直後に届きました。ウイルスのとらえ方が根本から変わりつつあることを感じております。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

生きもの研究はどんどん動いています。  
それをもとに私たちの研究・表現の活動をよりよいものにしていこうとしています。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.25 ニックネーム：たんぽぽばあちゃん

70代半ばまで生きてきて、「生命」ということがより現実的な感覚になってきました。  
時々研究館を訪ねて自分の生命史の一瞬の不思議に我を忘れていました。  
『DNA&図解見てわかるDNAのしくみ』を手元において中村桂子先生の『生命誌とは何か』を読ませていただきました。とても楽しい学びでした。  
これからも『生命誌』を友としてクラフトを作ってネットも友とします。  
gaccoで中村桂子先生の講座をつくってほしいです。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

研究館にいらして下さっているとのこと、本当にありがとうございます。是非周囲の方にも行ってごらんと声をかけていただけると嬉しいのですが。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.25 ニックネーム：Eichan

いつも楽しんでいます。  
今回の「ハナカマキリ」は先日テレビで放映あり、親しみが湧きました。  
子供と一緒に遊んでいます。ありがとうございました。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

私も観ました。匂いを出しているところなどみごとでしたね。お子様と一緒に遊んで下さるのが一番ありがたいことです。



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 生きる

投稿日：2015.03.25 ニックネーム：けいこちゃん

私、先生と同じ名前で恐縮です。今年1月ガンの手術をいたしました。GISTという病名です。最初はぴんと来ませんでした。とってしまえばOKなのか・・・？軽く考えていました。あとでそれなりに大変なものであることを学びました。私は小さいときに医者のおミスで3度もおなかを手術、今63歳それまでの半世紀、腸の健康は癒着だらけのおかげでなかなか健康には程遠く、つらい思いをしてきました。50のとき自然治癒が一番とサブリ改善で元気になりました。だがまだそのころは今のようにサブリに疑問ばかりはやっていましたから、間違っている・・・とお金つぎ込むだけの印象ばかりが言われて、だれもよく思ってくれませんでした。

50で死ぬだろうと思って60までなんとか乗り切り、サブリもやめてしまったときガンになってしまいました。でもとても爽やかに今を生きています。大事な時期を元気に過ごし、今生きていられる時間を楽しもうと思っています。自分にあった生き方を又みつけようと思っています。GISTの薬の開発がすすめば、まだ長生きできるかも。再発しないよう祈っている毎日です。

### お返事

投稿日：2015.03.30 名前：中村桂子館長

字も同じですか。よろしく願いいたします。私は医師ではありませんので、細かいことはまったく分からないのですが、手術後間もないお体、大変でいらっしやいましょう。でも御自身の管理で年を追ってお元気になっていらした生き方がとても印象的です。大人になってからは幸い大病をせずに過ぎたものですから、逆に申しますと体のことをきちんと考えずに生きてきた者として教えられました。爽やかに今を生きているというお気持ち大事になさって下さい。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.24 ニックネーム：空西風

いつも楽しみにしております。ありがとうございます。  
その都度、自然とか生命について考え方を学ばせていただいております。  
人間中心で考えていますと 人間>自然>宇宙の順ですが、科学的に見れば  
宇宙>自然>人間です。  
また、生物学的にいえば [自然(生物としての人間)] であって対立する概念ではないということをお教えられています。  
文明を持って独自の社会をつくっていくところに自然⇄人間という構図ができてきてしまっているのかもしれないですね。  
地球の表層が少々エネルギー余剰なので、自然の生態系は安全化に向けて生命システムをとりいれたのかなあと最近思っております。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

よく「自然と人間」という言葉が使われますが「自然の中の人間」ですね。これを基本にした文明をつくりたいというのが生命誌の願いです。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.23 ニックネーム：なおちゃん

生命についての、いろいろな専門の先端のとても、参考になり、勉強になる話が読めて、勉強になります。まとめれば、専門書のような本になります。WEBも興味深いです。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

WEBも読んで下さっていること、とても嬉しいです。「生命誌の広場」にも書き込んで下さい。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.23 ニックネーム：BRHカード読者Iさん

孫(小6)に毎回工作をやらしております。喜んで取り組み私は見守るだけですが、出来上がってくるのが楽しみです。  
こんなことがきっかけで生物に興味が出るようにと願っております。  
いつもテーマ別のいろんな切り口に感心しきりです。  
自分がどのくらい把握でき、かみくだいて孫に伝えれるか自分の生き物に対する思いもあわせ折々実践していきたいものと考えております。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

お孫さんの将来が楽しみです。  
おじいさまから聞かれたこと、きっと心に残ると期待しています。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.23 ニックネーム：佐藤忠雄

現在の編集方針に満足しています。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。  
カードの後、是非ホームページにお入りになってWEBの内容もお楽しみいただくと嬉しいです。今回のご意見を紹介させていただく「生命誌の広場」へどうぞ。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.23 ニックネーム：石原志乃

ペーパークラフトが楽しみです。

モバイルが好きなので置くタイプの工作でも内容によってはひもをつけぶら下げて楽しんでいます。  
個々の内容は私にとってかなり高度ですがTALKは日常の中にみられる事としてとっつきやすいです。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

対話とペーパークラフトから始まって、ほんの少し科学に足を踏み入れていただく…私たちの狙いです。お願いします。

### 季刊「生命誌」

#### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.23 ニックネーム：ジュンコ

毎回、ジャンルの違う方との対談が楽しみです。どんなジャンルであっても「生きているモノ」として、根源は生命だと感じます。  
研究館にも一度足を運びましたが、わからない専門用語が多く、チンプンカンプンです。ただ、そういう環境に接することで、自分が新しく生まれ変わるような気がします。紙工作も大好きです。作って飾ってあります。各種のミジンコの特集をお願いします。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

本当にそうなんです。生命誌とつながらない分野はないと実感しています。ガイド付きの御案内もしますので活用していただけるとありがたく思います。

### 季刊「生命誌」

#### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.23 ニックネーム：キタジー

いつもホットな情報をととても綺麗な工夫された図表と共にコンパクトにまとめてあり、毎号、興味深く拝読しています。また、付録の立体ペーパークラフトも卓抜なデザインで創案されており、感心する次第です。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

BRHとはなにか。BRHは何をやりたいのか。その思いをギッシリ詰めてお送りしています。  
カードをお読みになった後、ホームページにお入りになってWEBの記事も楽しんでいただけると嬉しいです。

### 季刊「生命誌」

#### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.23 ニックネーム：R.N

百聞は一見にしかずということで高槻に宿をとり、イベント前日のあわただしい生命誌館を駆け足でしたが登り折りしました。  
明るい館内は見飽きませんでした。記念にトランプ2種土産に芥川を去りました。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。駆け足でも現場にいらしていただくのが一番嬉しいことです。  
またいらして下さるのを楽しみにしています。

季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.22 ニックネーム：山田正男

豆科の進化を考えています。豆科は花に特徴がありますが、豆科の花を紙でど〜作ったらいいのか、教えてほしいです。『生命誌』はものづくりに力を入れているように見えますが、専門のチームでもあるのでしょうか？

お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

ものづくり…つまり「表現」を大切にしています。  
「モナ・リザ」がルネサンスを語ってくれるように表現は後々まで残りますから（ちょっと大げさですね）。  
坂啓典さんというすばらしい表現者と共に皆で工夫をしています。

季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.22 ニックネーム：あかね55才

いつも楽しみに待っています。  
科学とは無縁の日常どっぷりの毎日です。  
”生命誌”を手にする事で、非日常を自分に少しインプット。  
日々の家族のこと仕事のこと繰返す身の回りのことは、淡々と片手でこなし、もっと深い遠い実は、本当は、そこから自分自身も来ているはずの生命誌マンダラの始まりを思いおこして、過ごしていきたいと思います。

お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

日常の非日常ってとても大切ですよね。  
生命誌マンダラの織物ができました。是非見にいらして下さい。

季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.22 ニックネーム：GENSAN

紙の模型をいつもつくっています。  
マゴに見せて説明しています。前回のパラケラテリウムは長い間むつかしいように思えたので  
机の上におかれたままでしたが、先日ようやく組み立てました。  
上手に走るのおどろきです。  
マゴ5号(1才)は泣いてしまいました。

お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

マゴ5号までいらっしゃるんですね。楽しそう。  
どんな成長をなさるか私たちも楽しみです。

季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.21 ニックネーム：深瀬広幸

毎号、楽しく拝読させて頂いております。  
最先端の研究成果に触れ、ワクワクしています。  
これからもサイエンスの楽しさを紹介し続けて下さい。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

今一番面白いこと、大事なことは何かと毎日考えながら記事を作っています。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.21 名前：平野雅彦

新しい『生命誌』が届く度に、「知らない」という扉が開いていく。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

知らないことだらけの私たち。いつもアンテナを高くして面白いことを探しています。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.21 名前：宇那木隆

いつも大変工夫されたデザインで楽しませていただいています。  
生命科学の最先端の勉強ができるのが一番のよろこびです。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

最先端を楽しく皆さまと共有することに心がけています。これからも楽しんで下さい。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.20 ニックネーム：BRHカード読者Yさん

今では中学生の子供が夢中で読んでいます。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

中学生が読んで下さるのは一番嬉しいことです。将来につながるお役に立つと更に嬉しいです。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.20 ニックネーム：コバケイより

いつも楽しく読んでいる。  
孫達にナゾナゾ的に問題提起をして興味を誘っている。  
図解にはいつも感心している。  
一層の活躍を祈ります。

## お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

お孫さんとのつながりに役立っているのはとても嬉しいです。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.20 ニックネーム：すし

ハナカマキリの工作がむずかしい。  
のりでつけにくいから、もっとのりしろ部分を大きくしてほしい。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

小さなカードに収めるので…面倒かもしれませんが工夫をお願いします。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.20 ニックネーム：のりたま

BRHcardsをいつも楽しみにしています。  
特に「SCIENTIST LIBRARY 人を通して」は日常では出会うことのない方たちに出会うことができるのでとても刺激的です。  
ご本人の写真がナイスです。  
私はガンを経験し残りの人生(おまけの人生)をどうしようかと思っているころこのBRHcardsに出会い「生きること」をいろいろ考えさせていただきました。  
身体の方は日に日に衰えています、知的好奇心は冴えるばかり。  
この出会いに感謝いたします。  
☆5/16のレクチャー・ハンズオンは長男を誘って見ようと思っています。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

SCIENTIST LIBRARYの写真は第一号から大西成明さんが撮影して下さっています。内面を移し出すので、先生方も気に入って下さっています。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.20 ニックネーム：イコニ〜

マンダラの織りものが早く見たい！  
それをポストカードか、シールにして販売してほしいです。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

是非ごらん下さい。日本の伝統技術とコンピュータ技術から一体になってきてます。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.19 ニックネーム：ヤス

毎回、トップ級の研究者が登場し、その生き様を丹念に丁寧に追っている姿勢を高く評価します。  
模型づくりもいいですね。手を動かすのが頭のいい訓練です。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

専門家が一流と思うことを、すべての方と共有するというのがBRHの姿勢



ですのでそれを評価していただけて幸せです。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.03.19 ニックネーム：BRHカード読者Iさん

生命誌、たのしみにしています。  
今回は上橋菜穂子さんの記事もうれしくよみました。  
それとびっくりしたのは生命のマングラです。すばらしく見えました。本物がみたいですね。

### お返事

投稿日：2015.04.07 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。  
マングラの本物是非見にいらして下さい。織物の糸一つ一つから思いが読みとれます。

## その他

### 美しい表現に魅せられて

投稿日：2015.03.16 名前：杉山昭夫

生命誌研究館が表現に力を入れているおかげで、科学は難しくて苦手と思っていた科学への興味関心を呼び覚ましてくれました。生命誌の考えを少し理解できたためか、身近な生き物を見つめる目と考え方が新たになったように思います。

1月に発刊された生命誌年間号「ひらく」は、細かい部分まで工夫が凝らされ、完成するまでの苦労が伝わってくるような美しさです。特に、付録「生命誌研究館20年のあゆみ」の一つ一つの工夫は半端でなく、美しい！としか言いようがありません。美しいからこそ、時々開いてみたくくなります。DVDは2回見ました。20年の歩みをコンパクトにまとめて、さらに映像として美しく、内容もわかりやすくすることは、とても難しいことです。スタッフの皆さん、本当にご苦労さまでした。今回発刊された「20年のあゆみ」が、これからの新たなスタートとなり、さらに発展されますようお祈り申し上げます。  
機会がありましたら、もう一度ゆっくり訪れたいと思います。

### お返事

投稿日：2015.03.17 名前：中村桂子館長

本当にありがとうございます。私たちの気持ちをそのまま受け止めて下さっており、とても嬉しいお言葉です。20年を一区切りにどんな新展開ができるか・・・正直今悩んでいます。でも20年前も先は見えず悩みながら始めたので、次の20年（これは私ではなく若い人たちです）どうなるかは楽しみということにします。

## 中村桂子の「ちょっと一言」

### がんと社会

投稿日：2015.03.16 名前：足立隼

お友達の方が元気になられて何よりです。がんは難しい病気ですね。生物が進化する為には突然変異が必要で、元々は突然変異による多様性の維持の為にDNAの複製にほんの少し誤りの余地があるものだったのが、細胞レベルの適応現象として周りを見放して自分だけが生きようとする者が出てくる。個体レベルではがんであっても、細胞レベルでは「適者」なのが厄介なところですね。だから細胞内にはDNA修復遺伝子、がん抑制遺伝子や細胞死の機構、体内にはがん免疫もあって何重にも防御機構が働いている。多様性を適度に維持するにはいろいろコストがかかることが分かります。がんの話がヒトの社会の話に直ぐには結びつかないと思いますが、どうすれば全体として調和のとれた社会を作ると同時に多様性もある程度維持出来るのか、がんにもまだまだ学べそうなことがたくさんあると思います。

### お返事

ありがとうございます。本当によかったです。おっしゃる通り、恐らく「がんを知ることとは生きているとはどういうことかを知ることと同じ」と言ってよいのだと思います。ですから、本質を知るのは難しいですが少しずつ顔の一部を見せてくれているのでそこからわかってくることを活用して治療可能にしていく努力が大事なのだと思います。

## その他

### 「なんで生きてるんだ、私は…」

投稿日：2015.03.10 ニックネーム：hon no mushi

投稿が嵩んですいません

昨日までお送りしたFAXで、空から落ちこちてくる女の子の話がありましたが、先程までちょっと、病理学・整形外科・内科・小児科・生理学・救急医療…といったテキストをパラパラめくって眺めていて、お医者さんは大変だな～と感じました（生理学の本は、生命誌で採り上げられる先生方のお話とかぶる所が多いですね）。

…で、私のような門外漢にはどうしようもないので、あの場面の続きは救急車を呼ぶことで全部任せてしまおうかとも思ったのですが…気が変わりました。

それらのテキストを眺めた結果、浮かんできた感想は…

「私はなんで生きてるんだろう」

…ということです。

そして、落ちて来た女の子の心象風景として海の中（深海？）を漂っているようなところから次の話が始まり…これがグロリアに当たる章になります。というか、なると思います。（…私もこれからもっともっと下積みしなければいけません、）その女の子が「生きてること」に対する疑問を次々に解消し、自らの血肉に溶け込ませていく…そして自分が生きてること、まだまだ生きていくことを信じるようになっていく…というのがクレドの章になると思います。（その間にいろいろな事件や事象が割り込んでくるとは思いますが）

…何だか、自分から始めた話を身勝手に続けてしまってすみません…。そういえば、明日はあの大地震から4年目の5回忌でした…私なりのレクイエムをさげたいものです…

## その他

### 自分で表現してみた分かったこと

投稿日：2015.03.09 ニックネーム：hon no mushi

すいません、先程FAXをお送りした者です。絵柄を送るのにこの投稿欄では限界があるので、連日のようにFAXを使ってしまいました（一昨日の話はちぎれて終わったので、後を続けようと思ったのですが、話の持って行き次第ではグロリアやクレド、サンクトゥス…に相当する部分がかかなり入り乱れた、ケイオス状態になってしまうので（それも面白いが…）、ちょっと止めさせて頂きました。先程のに題を付けるとすれば「お尻に難がある男のコと般若のワカメちゃん」かな…何回でも出てきそうです…）。

それらは全てラフスケッチですが、これに色をつけたり服装に凝ったりすると膨大な時間が…でも、絵心のある人はもっと上手く、あるいは独特の表現で主張してくるでしょう。私にはそういう方々の投稿が見られないのが残念です。

（少し前に「奇瑤璃絵（キリエ）」「離別瑤螺目（リベラメ）」の拙い楽譜をお送りしましたが）音楽に関しても、同様に残念です。

しかし、とにかく時間が足りない、ということに気付きました。大学受験で終了10分前に、自分の書いた解答の間違いが判り、同時に解いてしまったのと似た感じ…

それはそうと、一昨日の朝日新聞に気になる記事がありましたので引用致します。タイトルは『「願望主義」復活させるな』…

…「願望主義」は日本の原子力界を、その黎明期から支配してきた。物理学者として日本の原子力開発と生涯かかわった田島英三さん（の回想録の言葉…）

「このような（10年毎の原子力大幅倍増）計画はどう考えても達成出来るとは思えない…ので、委員会の席上でこの計画の根拠を尋ねたところ、『これは努力目標です』という答えがアッサリと返って来た。私は啞然とした。信じられないことであったが、これは日本の官庁の常識らしく、まともな実現可能予測と受取る方が滑稽なのかもしれないと思った」…

…原子力規制委員会の田中俊一委員長は…次のように語った。「技術は100%安全ですと言ったとたんに間違い」「言ったとたんに安全性を向上させる努力を放棄することになる」…原子力の「願望主義」を復活させてはならな

い…



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 味覚。

投稿日：2015.03.08 名前：寺内正子

といっても、馬やポニーの味覚なのですが、不思議なんです。

私の知人のポニーが放牧されている所は、雑草だらけで、毒草もたくさん生えています。放牧場といっても、普通の山野と同じようです。

ある日、子馬が、一生懸命に山椒の葉を食べていました。帰って調べてみると、山椒には駆虫作用もあるとのこと。子馬の駆虫は重要で、生死に関わることもあるそうです。この子馬は、生後1ヶ月位でした。

馬は、食べられる草だけでなく、自分を治してくれる草も知っている、また、いろいろな草を食べ合わせて、毒消しもする、と聞きました。本能か、経験かわかりませんが、もしかしたら、人も、自分に必要な食べ物を選ぶために、好き嫌いがあるのかな、と感じました。

### お返事

投稿日：2015.03.10 名前：中村桂子館長

とても興味深いお話、ありがとうございます。今研究館でチョウの幼虫がなぜきまった葉しか食べないのか、他の葉に忌避物質があるのか、好きな葉に惹きつける物質があるのかを調べています。答えの出るのはまだ先ですけど。面白いことがわかったら報告しますね。人間も本来は毒のあるものを避ける能力を持っているはずで、子どもが苦いものを嫌うなどはその一つの現れでしょう。文明人は危しくなっていそうですね。今の好き嫌いはちょっと違うかなと思います。

味覚のようなとても日常的なことにわからないことが多い……。これからの科学が日常とつながるようにということにはこのような問いを考えようという意味も含まれていると思います。



### その他

#### 「ふしぎ」を2つ教えてください

投稿日：2015.03.07 名前：杉山昭夫

「たくさんのふしぎーいのちのひろがりー」を楽しく読ませていただきました。この本を小学生に読んで聞かせたら、きっと「たくさんのふしぎ」が生まれ、いろいろな感想が出てくるでしょう。読み物として大人も楽しめます。松岡さんの絵もすばらしく、生命誌の世界がとてもわかりやすかったです。読んでいて疑問に思ったことを2つ教えてください。

一つ目は、10ページを読みながら思ったのですが、宇宙もひとつの生命体と考えてよいのでしょうか。宇宙が地球を生み、地球が海を生み、海が生き物を生んだと書いてありました。

二つ目は、28ページ、6500万年前に隕石が地球に衝突し、恐竜が滅んだので哺乳類が生き延びたと書かれていますが、隕石の衝突がなければ人類は生まれなかったと考えてよいのでしょうか。

最後に、この「いのちのひろがり」が絵本になり、多くの学校や図書館、家庭で、たくさんの人に読んでほしいと思いました。

### お返事

投稿日：2015.03.10 名前：中村桂子館長

お読み下さってありがとうございます。

ただ、今ちょっとドキッとしています。無意識でそのように書いたのですね。周囲の人にも読んでもらい、自分でも何度も読み直しましたが、そのまま通ってきたのです。科学的に宇宙は生命体かと言われたらいわゆる生物の定義には合いません。ただ、最近、「生きている」という動詞で考えることを続けているうちに定義にピッタリと合った生命体でなくても自然は生きているという感覚になってきているのではないかと改めて気づきました。ちょっと考えこみながら、今の自分について考えたいと思っています。ありがとうございました。

二つ目はその通りです。歴史に「もし」はないのですが、恐らく恐竜の世界が続いたら人間は生れなかっただろうと思います。

本を書くというのは難しいことだとつくづく感じています。



## だしの思い出

投稿日：2015.03.02 名前：足立隼

食においては健康を一番に考えることは当然ですが、私にとってはデスクワークだけの日でも毎日手を動かしてリズムを作り、バリエーションのある食事をするのが精神的な安定を得ることに繋がっています。ヒトの味覚には甘・酸・塩・苦・旨味の5種類があると言われていますが、旨みは日本由来の言葉ですね。昔イギリスに居た時にレストランで茹でただけの野菜を出され、塩こしょうとパックに入った出来合いのソースの袋を渡されたことがあります。勿論場所を選べばそんなことはないのですが、だしが無かったです。アメリカでも家をシェアしていた知り合いが味噌汁を飲みたいというのですが、彼はベジタリアンなので鰹だしが使えず、生憎昆布も切らしていたので味噌と具だけが入った味噌汁を飲んで貰ったことがあります。かなり大味になってしまったのですが、本人はそれでも良かったみたいです。日本の「だし」の文化は特異なのかも知れません。同じ欧米でもイタリアはアンチョビやハム、それにトマトのだしを使うので、トマト好きの私には良かったです。私は中国やフランス、トルコに長く滞在したことがないので、それらの国も興味深いです。

## お返事

投稿日：2015.03.04 名前：中村桂子館長

おだし抜きのお味噌汁はちょっとしんどいですね。もっとも食材にはそれぞれ独自の味がありそれを生かすのが日本人の得意技ですからまさに塩梅よくやる必要はありますね。敗戦後の食糧難の時に育った世代ですので、ぜいたくは言わずにありがたく何でもいただくのが基本姿勢です。

▲ ページの先頭へ